

第4回 門真市上下水道事業経営審議会 会議録

○ 日 時 令和7年3月27日（木）午後3時から午後4時10分まで

○ 場 所 門真市役所本館2階 大会議室

○ 出席者 川勝 健志 委員
菅原 正明 委員
妹尾 学 委員
西口 真弓 委員
中西 嘉則 委員
中吉 美智 委員

○ 事務局 環境水道部部長 廣田 真紀
環境水道部次長 西岡 慈敏
経営総務課長 小野 直宏
経営総務課長補佐 清末 恭史
水道事業課長 山口 達也
お客さまセンター長 松岡 直彦
お客さまセンター長補佐 塔筋 良平
お客さまセンター長補佐 加藤 明秀
公共下水道事業課長 野崎 正文
公共下水道事業課長補佐 橋 幸市
経営総務課主任 清家 恭子
経営総務課主査 高田 賢一
経営総務課主査 梅原 卓朗

○傍聴者 なし

○開会挨拶

【事務局】

皆様、本日は、ご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。
門真市環境水道部経営総務課の清末でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

定刻になりましたので、ただいまから、第4回門真市上下水道事業経営審議会を開催させていただきます。本日は、委員8名中6名がご出席されておりますので、本審議会が成立しておりますことをご報告いたします。中村委員、田村委員は日程の都合がつかせず、ご欠席でございます。

本審議会につきましては、議事録作成のため、録音をさせていただきたく存じますので、ご了承のほど、よろしくお願いいたします。また、本日は事務局として環境水道部長以下、担当課長、担当者並びに委託業者が事務局として控えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、案件に移らせていただく前に、お手元の配布物の確認をさせていただきたいと存じます。1点目は、会議次第。2点目が、資料1 パブリックコメント意見募集結果について、3点目が、資料2 第3回審議会からの門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）（案）の変更点について、4点目が、資料3「門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）（案）」の冊子、最後に5点目が、資料4「門真市公共下水道事業経営戦略の中間見直しについての答申であります。資料につきましては、後ほど順次、議事進行の中で使用させていただきますので、よろしくお願いいたします。

配布物の不足等ございませんでしょうか。

資料がお揃いのようなので、以下の進行につきましては、川勝会長の方をお願いしたいと存じます。川勝会長、よろしくお願いいたします。

○案件1 「門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）」（案）に係るパブリックコメントの結果について

【会長】

皆様、こんにちは。いつものように、皆様、積極的にご発言よろしくお願いたします。

それでは私の方で議事を進めさせていただきます。案件1 『門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）』（案）に係るパブリックコメントの結果について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、議事案件1 『門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）』（案）に係るパブリックコメントの結果についてご説明させていただきます。

「門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）（案）」に関するパブリックコメントについては、令和7年2月7日金曜日から令和7年2月28日金曜日までの期間で実施しました。

閲覧場所といたしましては、門真市役所本館入口をはじめとして市内12か所に設定しました。意見の提出人数は1名で、意見件数は1件でございました。ご意見の概要といたしましては、「水道料金下水道使用料減免」というものでございました。

寄せられたご意見に対する「門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）」（案）の修正は行いませんが、ご意見に対する市の考え方としては、「今回策定する『門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）』に基づき、事業運営に必要な財源を確保し、引き続き市民の皆様へ安定したサービスを提供してまいります。」とお示ししているところでございます。

以上でございます。

【会長】

ありがとうございました。ただ今、事務局より説明がありましたように、パブコメは残念ながら1件しか来なかったということなのですが、事務局としてのリプライはこういう形でどうかとご提案もいただいているのですけども、この点について皆様の方からご質問などあればお伺いしたいと思います。

いかがでしょうか。

（ 意見なし ）

特にございませんか。

ありがとうございます。この件に関しては委員の皆様から特にご意見ないということですが、よろしかったですか。

この種のパブコメはなかなか関心をもってお返しいただける市民の方がそれほど多くないというのもあるかと思うのですが、広く知っていただくというのは重要だと思いますので、ぜひ努めていただければと思います。

案件1につきましては、以上とさせていただきます。

○案件2 「門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）」（案）について

【会長】

そうしましたら案件2の方に移らせていただきます。こちらの方は皆様にもご協力いただいた経営戦略の改定版についての議題となっています。

まずは事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それではお手元の【資料2】「第3回門真市上下水道事業経営審議会からの門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）（案）の変更点について」をご覧ください。

昨年12月に開催した第3回審議会の後、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、パブリックコメントの実施に際して、事務局において記載内容を精査したうえで、グラフ及び文章等の修正を行っております。3ページ以降は、修正前と修正後のグラフ、文章等の比較を示しております。

先ほどの案件1でもご説明いたしました、パブリックコメントの結果による本改定版（案）の変更は行っておりません。

改定版（案）の冊子については、お手元の【資料3】のとおりでございます。

以上でございます。

【会長】

はい、ありがとうございました。

お手元の資料2ですね。前回からこういうところを修正されたということで今ご説明をいただきました。基本的には皆様のご意見を反映した形になっているかと思えますけれども、この点について、もし、ご質問等やご意見があればと思いますがどうでしょうか。

大丈夫でしょうか。特にご自身が発言された部分の修正の仕方が発言の意図と違うなどがあれば教えていただければと思います。

今説明にもあったかと思うのですが、分厚い冊子の方に今の修正点が反映されております。そこに加えて、本文の方ですね。このあと答申を控えているので大きな変更はなかなか難しいかと思うのですが、改めて本日お越しになるにあたって、ざっと読み返していただいたかと思いますので、そこで気になっている点や、本文（案）にすぐさま反映できるかどうかはともかくとして、少し

意見として述べておきたいということがあればと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

問題なさそうですか。

【委員】

先の方になるのですけど。

【会長】

答申の方ですか。それでは答申に移りますか。

皆様、本文のことについてはよろしいですか。先に進みますけれども、後に戻って少し言いたいことを思い出したということであれば言っていただくということにしようと思います。

○案件3 「門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）」の答申について

【会長】

それでは、案件3に移らせていただきます。
こちらの方も事務局からご説明をお願いします。

【事務局】

お手元の【資料4】「門真市公共下水道事業経営戦略の中間見直しについての答申」をご覧願います。

こちらの答申につきましては第1回 令和6年8月7日開催の会議から、令和6年12月20日開催の第3回会議まで、皆様にご審議いただいた内容を反映しているところでございます。現状の門真市の公共下水道事業、どのように実施していくか、未来の姿、こういう事業を展開していくかというところで皆様に審議いただいたところでございます。

その内容を反映した中身がこちらの答申となっております。

今後はこの答申内容を踏まえ、健全な公共下水道事業を展開していく、また皆様からいただきました市民の声をよく聞く等、皆様からいただいたご意見を着実に守っていけるよう、努力していきたいと思っております。

答申案につきましては以上でございます。

【会長】

ありがとうございました。時間の都合上、答申案の中身につきましては説明を割愛させていただくのですが、思った以上に時間がたっぷりあるということです。

いずれにしても、今日のメインであることは間違いないので、この答申案の中身について、皆様の方からご質問などがあればぜひいただきたいというように思います。

【委員】

今会長がおっしゃった答申案の4ページのところなのですが、「門真市公共下水道事業の継続性の確保について」という件のところで、2番目のところで「令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管破損を起因とすると思われる陥没事故等」というセンテンスがあるのですが、大変皆様にご心配おかけしたことと思うのですが、大阪府の方にも国から指示がございまして、1月末から2月初旬まで、4日間かけまして、延長で約70km、マンホール

の箇所ですと 488 カ所の点検をいたしまして、問題ないということを確認いたしました。

それで、一度点検はしたのですけども、また新たに国から、再度点検するようという依頼が来ていまして、引き続き調査していくことになるのですけれども、ここに書いている通りですね、社会的関心が高いということは間違いのないと思いますので、いかに我々の持っている施設を健全に維持していくかということが重要なことになると思うのですけども、もちろん国の補助金があってもこのようになってくるので、簡単に描きにくいのですけれど、中身について本編の方には記載されているのでしょうか。

答申でこういう言葉を入れているということが、門真市さんの下水道以外にとっても、こういう関係の仕事が発生してくるということになると思いますので、もともと本編の中にも改築更新の話も入っていますので、改めてこのことをコメントする必要はないかなとは思っているのですけれども、新たな局面も今後出てくるかもしれないということで、我々の答申の中にコメントを入れさせていただいたということは、よかったですと思いますので、参考の意見にはなったと思います。

【会長】

ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

先ほど〇〇委員からご意見いただきましたが、基本的には答申案の中身というのは、我々が議論させていただいて、反映したこの経営戦略のものと整合できてないといけないわけですね。そういう意味では突如、こういう事故といえますか、そういうものが生じてしまったということで、具体的な事例を書き込む必要はないと思うのですけども、今後門真市として、事業を行っていくうえで留意していかなければいけないというようなことは、表現の違いはありますが、経営戦略の中にも書き込まれているかと思っておりますので、口頭でも結構ですので、また経営戦略に触れる機会があったときに、ご意見を少し補足していただけるとよりリアリティを持って聞いていただけるのではないかと思います。

他の皆さんも、今のところ以外でも全くかまいませんので、ご意見いただければと思います。

今日で最終回ですので、一言ずつでもいただけたらと思いますけども。考え中かもしれないですけど、何かないですか。

【副会長】

とくにはないのですが、特段答申に異論はないです。

【会長】

はい。

〇〇委員はいかがですか。異論はないということでも、賛同しますということでも。

【委員】

特にはないです。

【会長】

わかりました。それでは、〇〇委員はどうですか。

【委員】

特に文章的には問題ないと思うのですが、陥没事故があった後に、施設を見せていただいたときに、トラックが流れるのはどういうことだろうと思って、こんなに大きい管が埋まっていることを初めて知ったのです。

聞いているのと実際に見るのは違うと思うし、実際の施設を見るのは大事だと思いました。

【会長】

今お話をお伺いして思い出したのですが、皆さん、2月の下水道施設見学は行かれましたか。私は行けなかったのですが、もしよかったら見学された感想などもいただけたら。

【委員】

ご苦労様ですという感じですね。いろいろ工夫されていますね。やっぱり見ないとわからない。家でもお水を流すときに注意するようになったし、実際にものを見たら変わるのかなと思いました。

【会長】

以前の会議でも申し上げたかもしれないのですが、教育の一環として、施設見学みたいなことはするのですか。

【事務局】

学校ごとに、上水・下水問わず、水に対する勉強というのはカリキュラムに入っていますので、担当の先生次第で施設を見に行くというのは聞いており、上水の方になりますけども、水道教室、水の勉強を、小学校4年生を対象に実施していただいています。

【会長】

事務局の仕事を増やすつもりはないのですが、学校教育の一環としてやるというのは、学校との兼ね合いで難しいというのもあるかもしれませんが、子供がそういうものを見学し、接点を持つようなイベントを開催すると、自ずと親がついていきますね。

学校教育だと子供しか学ぶ機会がないですし、意識を高める機会がないのですけど、親がなかなか忙しいので、親のイベントとしてやっても誰も集まってこないというの也被考えられるので、子供のイベントで子供の学び、楽しみの一つとして企画したものに親がくっついてくる。それで、親も初めて知るみたいな、そういう授業があってもいいのかなと個人的に思いました。

〇〇委員は行かれましたか。そのことも含めて何か一言いただけたら。

【委員】

そうですね。答申については文章、私も問題ないかなと思っておりまして、見学にも参加させていただいて、思いのほかいろんな施設がたくさんあったので、率直な感想で申し訳ないのですが、いろんな過程を経て自宅の水道に来ているのだなということを改めて実感しました。

【会長】

ありがとうございました。面白かったですか。

【委員】

そうですね。面白かったですよ。

【会長】

ありがとうございます。面白かったというのは重要だと思います。面白くなかったら次は行かないですね。一応一通りお話はいただいたのですが、施設見学については分かりましたか。

【委員】

私は主催者側の方で参加させてもらったのですが、答申の5ページのところでですね、市民公表をわかりやすくという項目があるのですが、実は大阪府では、情報発信が重要だということで力を入れて取り組もうとしているのですが、インスタグラム等にもいろいろ動画投稿してみたり、映えマンホールとって、マンホールと大阪府の風景を撮って、インスタグラムにアップしたり、下水道の認知度を高めようとしているのですが、なかなかフォロワーが増えずに困ってしまっていて、PRがうまくできてないのではないかなということ、名刺にQRコードを入れたりしようかということ、拡大していこうということなんです。

それで、処理場の方も施設は見ていただいたのですが、あまりお金の話はしていなかった。施設の仕組みや、処理場の中身の話はしていたのですが、いったいどれぐらいお金がかかっているかという説明がなくて、それもちよつと課題だなと認識してしまっていて、どのぐらいお金がかかっているかという情報も、できるだけ積極的にこれからは発信したいということで考えてしまっていて、ぜひ下水道応援団になっていただいて、PRにご協力いただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

【会長】

ありがとうございます。お二人は参加されましたか。

【委員】

私も大阪市でいろいろやったのですが、この間初めて見せてもらった広域処理場に行ってシールドの中、僕も何回か本体の中に入ったことがあるのですが、見学施設としてあれがあったら、中々市民の方は下へ降りて見るのは難しい、あれはすごく良かったと思っています。

ぜひ一回見てもらったら、5mの管がどんな大きさが分かる。1リングだけですが、セグメントを組んだものが地上見学施設みたいにあるので、大変あれは有効的かなと思います。

【会長】

実際に目の前にして感じるものというのは大きく、やっぱり迫力があると思うんですね。

近所にトンネルが新たに開通したときに、見学させていただいた機会もあったのですが、すごくインパクトがありましたし、そういうことを体感できる機会が時々あると、実施する方は大変ですけど、いいのかなと思います。

ありがとうございます。

一通りコメントをいただいたのですけども、肝心の答申案については、大きな異論はなかったように思います。

私の方からは、内容については異論ないのですけども、事前に事務局の方々にはお伝えしていたのですが、今回の審議会、今日と合わせて4回開催させていただいたテーマをうまく本文、冊子、答申案の方にもそつなくまとめているのですけど、答申案としては少し長いという印象を持ちました。

これだけの分量になると、重要なところがどこにあるのか少しわかりにくいということが印象としてありました。事務局としては、現状はこうでこういう意見が出ていてというように、漏らさずに入れていただいたと思うのですが、重要なのは経営戦略の策定の議論を受けて、どういう方向を市として打ち出していくべきなのかというところにあると思うのですよね。

現時点では大きな方向性を打ち出すというような内容にはなっていないと思うのですけども、節目ではあるので、この節目でどういったものが重要になってくるのかということをし強調していただけるといいのかというように思いました。

答申案としてはこれでいいと思うのですが、市民の皆さんに説明するときはここがポイントですというのは強調してご説明していただければ、しっかりと記憶に残していただけないかと思いました。感想レベルのコメントではありますけども、答申案を拝見して思いました。

皆さんの方から、答申案について追加的に何かコメントやご質問がなければ、以上にさせていただければと思いますがいかがでしょうか。

前後してしまうかもしれないのですけども、先ほどの改定版の案ですね、これについても特にご異論なかったように思いますので、審議会としてはこれが適当であると判断させていただいて、今後の運営について意見を提示するという形をとらせていただきたいと思います。

意見についても、皆さんの方から現時点ではないということでございましたので、前後して申し訳ないのですが、冊子につきましてもご了承いただいたというようにまとめさせていただきます。

それでは、休憩を5分ぐらい挟みまして、答申の方へ移らせていただければと思います。

(休憩、答申準備、市長入室)

○答申、市長挨拶

【事務局】

続きまして、次第の2「答申」でございます。

それでは答申書及び門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）（案）につきまして、川勝会長から宮本市長へ答申をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

【会長】

門真市長 宮本 一孝 様

門真市上下水道事業経営審議会会長 川勝 健志

令和6年8月7日付け門水総第694号をもって諮問された、門真市公共下水道事業経営戦略の中間見直しにつきまして、慎重に審議を重ねました結果、次のとおり答申します。

よろしくお願いいたします。

【市長】

ありがとうございます。

【事務局】

それでは、ここで宮本市長から委員の皆様にお礼のご挨拶がございます。

【市長】

委員の皆様には、今般の審議会にご尽力いただきましたことを、心より感謝申し上げます。

川勝会長はじめ、熱心にご議論いただいたと伺っております。

門真市では上下水道一体として経営していますが、とりわけ下水道に関しては、昨年の能登半島地震や埼玉県八潮市の陥没事故等が発生しており、インフラのあり方について検討していく必要があると思いますし、下水だけに限らず、上水においても国の方の所管が変わり、国土交通省に変わっていくことによって、上下一体のあり方については少しずつ議論されるようになってきているのかと思います。

ただ市町村においては、大阪府下は比較的、上下一体機構が採用されるケースは以前から進んできており、自治体の方では一体でやっても、国の方ではできていないということで、難しさもあったのですが、実態に近づいてき

ているのか、本来は一体的に戦略的に整備していかないと、高度成長期に整備されたものを再投資していくというのは、それなりに経営判断が必要になってくると思っています。

そういった意味で忌憚のない意見をいただいたことをこちらもしっかり理解しながら、市民にとっては安心・安全に過ごしていくための環境づくりをしていかないといけないと思っています。今後とも、より一層のご支援を賜りますことをお願い申し上げまして、私からのお礼のご挨拶といたします。

誠にありがとうございました。

【事務局】

ありがとうございました。

宮本市長につきましては、誠に恐縮ですが、他の公務のためこれにて退席させていただきます。

○その他

【会長】

ありがとうございます。それでは、次第の4、その他に移らせていただきたいと思います。皆様から何かございませんでしょうか。

【委員】

市民にアピールするということであれば、前も言ったとおり、門真まつりでブースを設けて、簡易トイレとか、市のマンホールの柄などがあって楽しいなと思ったので、写真でもいいですし、ブースを借りられるなら、そういうのもあっていいかなと思います。カードももらえましたし、ああいうのがあると食いつきもいいのかなと思いました。

【会長】

ありがとうございます。具体的なアイデアも、パネル展示も。最近だとデジタルサイネージを使ったら、いろんなことをお見せすることが可能かと思います。

下水道だけのイベントでは誰も来ないと思うので、何かのイベントの中に組み込んでいくというのはいいアイデアだと思います。他、いかがですか。

【委員】

今回2回目の参加になるので、いろいろ難しい議題ではあったのですが、学ばせていただいたことが多かったかと思います。次回開催されるときも、私が門真にいれば参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

【会長】

他の委員の皆様も専門家でいらっしゃいますけど、そのお立場で何かございますか。

【委員】

門真市さんの公共下水道は、結局大阪府の処理場で処理していますので、共同経営者みたいなイメージがあると思うのですが、我々が安く安定的に処理することが大切だと思いますので、気を引き締めて今後も取り組んでまいります。

【会長】

ありがとうございます。お二人はございますか。

【委員】

課題として、今後の門真市さんの公共下水道ですけど、気になったのは管路管理という点でストックマネジメント、ウォーターPPPをやって事業費削減について、説明を求めたいと思います。

【会長】

ありがとうございます。

【副会長】

市の監査委員という立場で、少子高齢化でインフラもだんだん古くなってきているという厳しい経営環境で、どうしてもお金の話が絡んでこざるをえない。料金の話を言いづらいついけど言うしかない。後手を踏むと余計苦しいということで、今後の更新は5年に1回ということでしたけど、私も賛成で、言いにくいことを小出しに言っていくようなカルチャーにしていかないと難しいだろうなと思っていますので、引き続き、決算等を見ながら発言していきたいと思っています。

【会長】

ありがとうございます。大切なご意見だと思います。

門真市さんに限らず、下水道に限らず、インフラ全般の老朽化が著しくなっていくなかで、経営面がやっぱりどこも厳しいと、そういう意味では今お話にありましたように、現状をできるだけ早い段階から市民の皆さんにお伝えをしてご協力をお願いする。お願いするときのやり方として、明日からこうさせてくださいとか、すぐに変えろとしんどいと思うので、早めにアナウンスして、段階的にご協力をお願いすることを、機会を逃さずにお伝えしていくのが大事ではないかと思っています。持続可能ではない経営になってしまうと思いますので。皆様ありがとうございました。

【事務局】

改めましてこの度、委員の皆様のご審議を賜りまして、答申を頂くことができました。事務局一同、厚くお礼申し上げます。

下水道事業は地味な事業かと思うのですが、市民の皆様に関心を持っていただくかというのをこの会議でも思いました。

門真市公共下水道事業経営戦略（改定版）につきましては、今回頂きました答申をもとに、最終的な内容を意思決定し、策定する予定であります。

なお、策定いたしました改定版の冊子につきましては、製本印刷が完了次第、委員の皆様にお送りさせて頂く予定としておりますので、よろしくお願い申し上げます。

委員の皆様、長時間、長期間に渡りまして、誠にありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。今ご挨拶の中にもあったかと思うのですが、下水道というテーマは専門的な内容も含み、なおかつ地味な、さほど面白いテーマでもない。その中で審議会の委員として意見をいただくということが難しい場面もあったかと思いますが、私の無茶ぶりにも耐えて、皆さんそれぞれご意見をいただけるという素晴らしい審議会だったかと思えます。

以上をもちまして第4回門真市上下水道事業経営審議会を終了いたします。皆様、これまでの期間、ありがとうございました。